## 病理学1

年次	学期	学則科目責任者
2年次	後学期	久山 佳代 (病理学)

学修目標	<ul><li>単位数:3</li></ul>
子修日標 (GIO) と 単位数	・学修目標(GIO):疾病は生体の機能や構造が正常範囲から逸脱した現象で、原因である「病因」と6つに大別される「病変」がある。これら病因と病態の理解なくしては医療・歯科医療が成立しない。したがって、病理学1では疾病の本態を理解するために、病因や病変の成り立ち・形態を理解し、ひいては歯科医師としてとして必要な問題発見及び問題解決能力を身につけることを目標とする。
担当教員	久山 佳代、宇都宮 忠彦、齋藤 美雪、末光 正昌、※阿部 洋太郎、※新崎 博文、※猪又 俊之、※及川 麻理子、※大石 善也、※太田 泰人、※大村 光浩、木場 秀夫、※黒子 光雄、※小泉 歩、※小泉 康之、※齋藤 隆明、※坂田 一美、※紫垣 華子、※茂田 里恵、※白川 誠二、※神向寺 登美夫、※鈴木 彰、※鈴木 慶洋、※田中 強、※田中 秀邦、※玉城 吉夫、※豊澤 悟、※二谷 悦子、※松村 由香、※三宅 正純、※村守 樹理、※諸岡 均、※山本 浩嗣、山本 泰、※林 正人、※西山 孝宏、※中村 文彦、※中島 十四夫、※中澤 啓介、※メルニエイ マリア、※伊豆 麻末
教科書	病理・口腔病理学提要 日本大学松戸歯学部病理学講座編 日本大学松戸歯学部病理学講座 スタンダード病理学 下野正基編 学建書院
参考図書	病理学総論にもとづく口腔病理学 井上孝、田中昭男、長谷川博雅主幹 永末書店 歯学生のための一般病理アトラス 賀来亨・山本博嗣編 永末書店
評価方法 (EV)	1) 平常試験 1 (25%)、後半試験 (25%)、平常試験 2 (50%)を目安として算出し、60点以上を合格とする。ただし、実習長の評価を加味できる。 2) 合格点に達しなかった者には再試験を実施することがある。ただし、欠席数(正当な理由のない)が全体の1/5以上の者はこれによらない。 3) 不合格の評価は 0 ~59点とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	病理学は歯科医師になるために必要な知識と技能を学ぶ学問です。そして、歯科医師として身につけておくべきマナーも重要な教育要素と考えています。真摯な努力と誠意、熱意をもって学修してください。そうすればきっと、良い歯科医師になることと信じます。正常の構造や機能と関連しながら、予習と復習を行ってください。 自学自修にはWebClassや自学自修用の配布資料等を利用してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/19 (水) 1時限 09:00~10:30	病因論	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎 的知識を習得する。	久山   佳代     宇都宮   忠彦     齋藤   美雪     末光   正昌
		【行動目標 (SBOs)】 1. 外因を列挙できる。 2. 外因の関与する代表的疾患の病態について述べることができる。	71771
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)疾患の内因と外因 2)6大病変の種類	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ア 内因、外因	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 ②環境と疾患の関係を説明できる。	
2018/09/19 (水) 2時限 10:40~12:10	病因論	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、疾病の成り立ちと病態との関連性について基礎 的知識を習得する。	久山 佳代 宇都薩 忠彦 京兼 美雪
		【行動目標 (SBOs)】 1.疾病の原因と成り立ちとの関連性について説明できる。 2.内因を列挙できる。	水儿 - 近日

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/19 (水)	病因論	3. 内因の関与する代表的疾患の病態について述べることができる。	久山 佳代
2時限  10:40~12:10		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)疾患の内因と外因 2)6大病変の種類	宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所 (教室/実習室) 】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ア 内因、外因	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 ②環境と疾患の関係を説明できる。	
2018/09/26 (水)	細胞障害,組織障	【授業の一般目標】	田中 秀邦
1時限 09:00~10:30	害及び萎縮 (退行性病変/代 謝障害)	退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞障害、組織障害及び萎縮の病 因・病態と生物学的意義について学修する。	
		【行動目標(SBOs)】 1. 退行性病変の医学的意義について述べることができる。 2. 萎縮の原因,種類,形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1) 退行性病変における萎縮,変性及び壊死の定義	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102 教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 イ 細胞組織の傷害 a 代謝障害(変性) b 萎縮 c 細胞死	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮 ①細胞傷害と組織傷害を説明できる。 ②変性と関連疾患の病態を説明できる。 ③疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 ④萎縮と仮性肥大を説明できる。	
2018/09/26 (水) 2時限 10:40~12:10	細胞障害,組織障害及び萎縮 (退行性病変/代謝障害)	【授業の一般目標】 退行性病変/代謝障害を理解するために細胞障害,組織障害及び萎縮の病因・ 病態と生物学的意義について学修する。	田中 秀邦
		【行動目標(SBOs)】 1.変性の定義を述べることができる。 2.変性の原因,種類,形態学的特徴及び代表的疾患の病態について説明できる。 3.壊死,壊疽,アポトーシスの成因,意義,多様性及び病態について解説できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/09/26 (水) 2時限	細胞障害、組織障害及び萎縮	1) 退行性病変における萎縮,変性及び壊死の定義	田中 秀邦
2時間 10:40~12:10	音及の姿権 (退行性病変/代 謝障害)	・準備学修時間:30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用  【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の主要な疾患とで害っ病因・病態ア疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死 【国家試験出題基準(副)】 歯科証」 病態 1 病因と調査の傷害 1 病胞組織の傷害 2 に知りを強い。 1 に対験による。 2 生命科学 C-5 病因と病態 ( コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 ( 1 細胞の ( 1 コアカリキュラム ) C 生命科学 C-5 病因と病態 ( 2 変性と関連疾患の病態を説明できる。 ( 3 疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。 ( 4 萎縮と仮性肥大を説明できる。	
2018/10/03 (水) 1時限 09:00~10:30	退行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞傷害、組織傷害及び萎縮の病因・病態と生物学的意義について学修する。 【行動目標(SBOs)】 1. 退行性病変に分類される疾患や病変の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目: 1) 退行性病変における萎縮,変性及び壊死の定義と病理学的特徴・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】アクティブラーニング無し第2実習室、顕微鏡ーテレビシステムの併用 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 102数室、第2実習室	久宇末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊久宇末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊住 正美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶強吉啓十文孝人由正樹工浩 洋一華均悦麻麻代忠昌雪邦文之也人浩雄 之明恵二 洋 夫介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末彦 ままれる とり マ 夫 マ 夫 マ 夫 マ 夫 マ 夫 マ 夫 ア チョー ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
2018/10/03 (水) 2時限 10:40~12:10	退行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 退行性病変及び代謝障害を理解するために、細胞傷害、組織傷害及び萎縮の病 因・病態と生物学的意義について学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 退行性病変に分類される疾患や病変の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1) 退行性病変における萎縮,変性及び壊死の定義と病理学的特徴について述べることができる。 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 第2実習室,顕微鏡ーテレビシステムの併用	人字末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴田山都光藤中崎又石田村子泉泉藤田川木木中宮 上 正美秀博俊善泰光光步康隆里誠彰慶強

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/03 (水) 2時限 10:40~12:10	退行性病変の病理組織学	【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊 城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆 城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆 正 ニ 寺 吉啓十文孝人由正樹工浩 洋一華均悦麻麻 吉啓十文孝人由正樹工浩 洋一華均悦麻麻 子 夫 マ 夫 ア チ チ ア チ チ ア チ チ ア チ ア チ ア チ ア ア チ ア ア チ ア ア チ ア チ ア ア チ ア チ ア チ ア チ ア チ ア チ ア チ ア チ ア ア チ ア
2018/10/17 (水) 1時限 09:00~10:30	循環障害	【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因及び病態について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.虚血,充血,うっ血,出血の成り立ち,種類,病態及び転帰について説明できる。 2.側側循環の異常の成因、種類及び関連する疾患について述べることができる。 3.ショックの成因、種類及び病態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 1 血液及びリンパ液の循環(経路) 2) 循環血液量の異常の種類 3) 閉塞性の循環障害の種類 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニング無し (日本) 第2 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	田中 秀邦
2018/10/17 (水) 2時限 10:40~12:10	循環障害	【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 血栓、塞栓、梗塞の種類、成り立ち、病態及び転帰について説明できる。 2. 播種性血管内凝固症候群(DIC) の成因と病態について解説できる。 3. 浮腫の成り立ちや病態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目:1)血液及びリンパ液の循環(経路) 2)循環血液量の異常の種類 3)閉塞性の循環障害の種類 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】 講義	久山 佳代 宇都藤 美雪 未光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/17 (水) 2時限 10:40~12:10	循環障害	【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】  必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 7 疾病の概念 h 循環障害 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 1 病環障害 a 全身の循環障害 b 局所の循環障害 b 局所の循環障害 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5-病因と病態 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。③血栓と塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。	久山 佳代 宇都度 美雪 末光 正昌
2018/10/24 (水) 1時限 09:00~10:30	循環障害の病理組織学	⑥ショックの成因と種類を説明できる。  【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.循環障害による主な疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・ ・準備学修項目と連備学修時間】・ ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無しアクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 アクティブラーニングの「無・学修媒体等】 「まと、変に、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	久宇末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊山都光藤中崎又石田村子泉泉藤田川木木中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆山都光藤中峰巻泰光光歩康隆里誠彰慶強吉啓十文孝人由正樹エ浩 洋一華均悦麻麻代忠昌雪邦文之也人浩雄 之明恵二 洋 夫介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末代忠昌雪邦文之也人浩雄 之明恵二 洋 夫介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末 シー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2018/10/24(水) 2時限 10:40~12:10	循環障害の病理組織学	【授業の一般目標】 循環障害を理解するために、その分類、病因、病態及び医学的意義について学 ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.循環障害による主な疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目: 1)循環血液量の異常の種類と病理学的特徴 2)閉塞性の循環障害の種類と病理学的特徴 準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 第2実習室、顕微鏡ーテレビシステムの併用 【学修方略(LS)】	久宇末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴 山都光藤中崎又石田村子泉泉藤田川木木 宮 正美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶 住 正美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/24 (水) 2時限 10:40~12:10	循環障害の病理組織学	実習 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 h 循環障害 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論因、病態 1 病因、病態 1 病因、病態 2 全身の循環障害 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-5)炎症 ①炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。	田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆 キ 大介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末夫介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末
2018/10/31 (水) 1時限 09:00~10:30	修復と再生(進行性病変)	【授業の一般目標】     並行性病突を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及び生物学的意義について学修する。 【行動目標(SBOs)】 1.増生(過形成)と肥大について説明できる。 2.修復と再生について解びできる。 3.細胞・組織の再生能力について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・ 準備学修項目: 1)細胞分裂周期 2)細胞分裂周期 2)細胞分裂周期における形態学的特徴 3)幹細胞と多分化能 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102講堂、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室) 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事忠と障害の病因・病態 ア疾病の概念 す病的増殖 【国家試験出題基準(副)】  総総論 (副) (調内、病態 カ病度、病態 カ病の、病態 カ病の、病態 の修復と過形成(増生) と化生 の用生 は創傷治癒 と異物処理	久山 (生代) (字) (京) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本
2018/10/31 (水) 2時限 10:40~12:10	修復と再生(進行 性病変)	【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、組織・細胞の修復と再生に関する病因・病態及 び生物学的意義について習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 化生について説明できる。 2. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 3. 創傷治癒に関与する細胞とその過程を解説できる。 4. 異物処理機構について説明できる。 5. 細胞・組織の再生能力について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)進行性病変の定義と種類 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】	久山 佳代 字都 宮 美雪 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/10/31 (水) 2時限 10:40~12:10	修復と再生(進行性病変)	講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 j 病的増殖	久山 佳代 宇都宮 美雪 末光 正昌
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 0 修復と再生 a 肥大、過形成 (増生) b 化生 c 再生 d 創傷治癒 e 異物処理	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-3) 修復と再生 ①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 ②肥大と過形成を説明できる。 ③化生を説明できる。 ④化生を説明できる。 ④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。 ⑤器質化を説明できる。	
2018/11/07 (水) 1時限 09:00~10:30	進行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、その病理学組織学的特徴について学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 進行性病変に含まれる代表的疾患の病理組織的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1) 進行性病変の定義と種類について説明できる。	久宇末齋田新猪大太+ 住 正美秀博俊善泰兴 住 正美秀博俊善泰兴 住 正美秀博俊善泰兴
		・準備学修時間:30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 第2実習室、顕微鏡ーテレビシステムの併用  【学修方略(LS)】 実習	大黒小小齋茂白鈴鈴木村子泉泉藤田川木木大里、小小齋藤田川木木 之明恵二 洋
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア疾病の概念 j 病的増殖	田玉中中中西林松三村中城澤島村山 村宅守市城澤島村山 村宅守子 人由正樹 大学人由正樹 建
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ウ 修復と再生 a 肥大、過形成 (増生) b 化生 c 再生 d 創傷治癒 e 異物処理	7 イメ山神阿田垣岡谷川豆 は一年 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、
2018/11/07 (水) 2時限 10:40~12:10	進行性病変の病理組織学	【授業の一般目標】 進行性病変を理解するために、その病理組織学的特徴について学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 進行性病変に分類される代表的疾患の病理組織的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)進行性病変の定義と種類について説明できる。 ・準備学修時間:30分	久宇末齋田新猪大太大黒小小 京
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 第2実習室,顕微鏡-テレビシステムの併用 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態	小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林聚藤田川木木中城澤島村山正康隆里誠彰慶強吉啓十文孝人正 大月 大大郎彦宏 一世 大大 大 大

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/07 (水) 2時限 10:40~12:10	進行性病変の病理組織学	ア疾病の概念 す病的増殖 【国家試験出題基準(副)】 総論Ⅲ 病医学統論 総論Ⅲ 病因、病態 ・修復と再生 a 肥大、過形成 (増生) b 化生 c 再生 d 創傷治癒 e 異物処理 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-3) 修復と再生 ①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。 ②肥大と過形成を説明できる。 ③化生を説明できる。 ③化生を説明できる。 ④創傷化を説明できる。 ⑤器質化を説明できる。	松三村メ山神阿坂紫諸二及伊村宅守ル本向部田垣岡谷川豆村宅守ル本向部田垣岡谷川豆・田正樹工浩・洋一華均悦麻麻・田正樹工浩・洋一華均悦麻麻・コー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2018/11/13 (火) 1時限 09:00~10:30	平常試験 1	【授業の一般目標】 病因・病態についての理解の状況を知るために、病因論、退行性病変、循環障 害及び進行性病変に関する病理学的知識を包括・整理する。 【行動目標 (SBOs)】 1.病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的特徴について説明 できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目 1)病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変に関する病理学的知見 ・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 102教室(第2実習室) 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	久山 住代 宇 京 美工 正 書
2018/11/13 (火) 2時限 10:40~12:10	平常試験 1 (実習)	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変 の病理学的特徴を包括・整理する。 【行動目標(SBOs)】 1.病因論、退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的特徴について説明 できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)退行性病変、循環障害及び進行性病変の病理学的知見 ・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 102教室(第2実習室) 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	久山 住代 宇藤 東正昌
2018/11/21 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症	【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について 学修する。 【行動目標(SBOs)】 1. 炎症の定義と発生機序について解説できる。 2.5 つの臨床症状とその病理組織学的な裏付けについて説明できる。 3. 炎症の分類、病理組織学的特徴及び経時的変化について述べることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修時間】・ ・準備学修項目: 1) 炎症のケミカルメディエーター 2) 白血球、リンパ球、形質細胞、マクロファージ、NK 細胞等の炎症性細胞の機能 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】 講義	久山 宮 住代 宇 藤 章 美 正 昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/21 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症	【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念	久山 佳代 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪 末光 正昌
		d 炎症 【国家試験出題基準(副)】  歯科医学総論 所因、病態 1 病因、病態 2 炎症 a 概念 b 原因 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。	
2018/11/21 (水) 2時限 10:40~12:10	炎症	【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について 学修する。	久山     佳代       宇都宮     忠彦       齋藤     美雪       末光     正昌
		【行動目標(SBOs)】 1.変質性炎の病態と代表的疾患について説明できる。 2.変質性炎の成因,種類,形態学的特徴及び代表的疾患について解説できる。 3.増殖性炎や肉芽腫性炎の成因,種類,形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。 4.膠原病と自己免疫疾患を列挙することができる。 5.膠原病と自己免疫疾患の成因及び病態について解説できる。 6.アレルギー性炎の成因,種類,形態学的特徴及び代表的疾患について説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1) 炎症のケミカルメディエーター 2) 白血球, リンパ球, 形質細胞, マクロファージ, NK 細胞等の炎症性細胞の機能	
		・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】	
		講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 d 炎症	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 オ 炎症 a 概念 b 原因 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-5) 炎症 ①炎症の定義と機序を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 ③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。	
2018/11/28 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症の病理組織学	【授業の一般目標】 炎症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について 学修する。 【行動目標 (SBOs)】	久山 佳代 宇都宮 走雪 齋発 正昌 新崎 博文
		【刊勤日保 (SBUS)】 1. 代表的な炎症性疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)炎症性細胞の役割	利啊 降文 猪又 俊美之 大大田 秦人 大村 光浩 黒子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/11/28 (水) 1時限 09:00~10:30	炎症の病理組織学	・準備学修時間:30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 第2実習室,顕微鏡ーテレビシステムの併用  【学修方略 (LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修主要な疾概念 な疾症 【国家試験出題基準(副)】 総論証病因、病態 7疾病の概念 な疾症 【国家試験出題基準(副)】 総論証病因、病態 1病因、病態 1病因、病態 2次症に関与する細胞 【コアカリキュラム】 【エアカリキュラム】 【エアカリキュラム】 【エアカリキュラム】 【ロテたの声景を脱明できる。 ②炎症に関与する細胞できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ②炎症に関与を説明できる。 ④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。	小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊
2018/11/28 (水) 2時限 10:40~12:10	炎症の病理組織学	【授業の一般目標】 炭症を理解するために、その病因、経過、分類、病態及び医学的意義について 学修する。 【行動目標(SBOs)】 1.代表的な炎症性疾患の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 第2実習室、 関微鏡ーテレビシステムの併用 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室】】 102教室、第2実習室 【国家武蘇殿出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 疾症 【国家試験出題基準(副)】 諸総論Ⅲ、数定学総由 成分症 【国科医学総由 成方病態 オ、炎症 【国科医学総由 人の病態 オ、炎症 【国和人病態 カ、炎症 【国内病態 カ、炎症 人の方面と病態 カ、炎症 ス、変症の一般目が の分類と病態 カ、炎症 人の一分類と病態 カ、炎症に関与する細胞 人の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 カ、炎症の一分類と病態 の一分類と病態 カ、炎症の一般目の種類と機能を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 ②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。 ②炎症は見与する細胞の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。 ③溶出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を説明できる。	久宇齋末新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及伊山都藤光崎又石田村子泉泉藤田川木木中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆山都藤光崎又石田村子泉泉藤田川木木中城澤島村山 村宅守ル本向部田垣岡谷川豆は 美正博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶強吉啓十文孝人由正樹工浩 洋一華均悦麻麻 (代忠雪昌文之也人浩雄 之明恵二 洋 夫介四彦宏 香純理イ嗣登太美子 子理末
2018/12/05 (水) 1時限 09:00~10:30	病理検査	【授業の一般目標】 病理学の病院での役割を理解するために、病理検査の基本的事項について学修する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 病理検査の意義について説明できる。 2. 病理検査の種類と手技の基本について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目:	久山 佳代 末光 正昌 山本 泰 宇都宮 忠彦 齋藤 美雪

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/05(水) 1時限	病理検査	1) 病変の分類や病理組織学的特徴	久山 佳代 末光 正昌
1時限 09:00~10:30		・準備学修時間:30分	山本 泰  宇都宮 忠彦
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	齊藤 美雪
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 b 組織診	
		【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 キ 病理学検査 a 細胞診 b 組織診	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) 炎症	
		③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。	
2018/12/05 (水) 2時限 10:40~12:10	免疫の病理学	【授業の一般目標】 免疫とその異常を理解するために、免疫反応の機序,アレルギー及び自己免疫 疾患の病理学的特徴について学修する。	豊澤 悟
		【行動目標(SBOs)】 1. 細胞性免疫について説明できる。 2. 体液性免疫について説明できる。 3. 自己免疫異常について説明できる。 4. アレルギーの分類、発生機序及び代表的疾患について説明できる。	
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)抗原・抗体反応	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室	
		自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 f 免疫異常	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 キ 免疫疾患 a 概念 b 免疫スタエ	
		c       自己免疫疾患         d       アレルギー反応(過敏症)	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-2) 免疫 ⑤アレルギー性疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。 ⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。	
2018/12/12(水) 1時限 09:00~10:30	先天異常・奇形	【授業の一般目標】 先天異常・奇形を理解するために、その成り立ち、分類及び病態について学修 する。	久山     佳代       宇都宮     忠彦       齋藤     美雪
		【行動目標 (SBOs)】 1. 先天異常の成因について述べることができる。	末光 正昌 

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/12 (水) 1時限 09:00~10:30	先天異常・奇形	2. 遺伝性疾患について説明できる。 3. 染色体異常について解説できる。 4. 奇形の定義について述べることができる。 5. 奇形の成因及び病態について解説できる。 6. 顎額面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の成り立ち、分類及び病態 7. 顎額面口腔領域に部分症を現す症候群や系統疾患の基本的な病理学的特徴について説明できる。	久山 佳代 宇都藤 美雪 素光 正昌
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1) 先天異常の種類や代表的疾患	
		・準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 02教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常	
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ア 内因、外因	
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-1) 病因論と先天異常 ①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。 ②環境と疾患の関係を説明できる。	
2018/12/12 (水) 2時限 10:40~12:10	嚢胞	【授業の一般目標】 嚢胞を理解するために、その成り立ち、分類及び病態について学修する。	久山 佳代 宇齋藤 正 美 三 美 三 上 山本
		【行動目標(SBOs)】 1. 嚢胞の定義について述べることができる。 2. 嚢胞の分類について説明できる。 3. 顎骨に発生する嚢胞の種類,成り立ち及び病理組織学的特徴について説明できる。 4. 軟組織に発生する嚢胞の種類,成り立ち及び病理組織学的特徴について説明	
		できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)嚢胞の定義 準備学修時間:30分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 i 囊胞(歯原性、非歯原性)	
		【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。	
2018/12/19(水) 1時限 09:00~10:30	腫瘍	【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義について学ぶ。	久山     佳代       宇都宮     忠彦       齋藤     美雪
59+VV ~1U+3U		【行動目標 (SBOs)】 1. 腫瘍の発生原因と組織発生 (多段階説)を説明できる。 2. 腫瘍の分類について説明できる。 3. 良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について述べることができる。 4. 上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 5. 非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。	療療 夫当 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
日付 2018/12/19 (水) 1時限 09:00~10:30	授業項目 腫瘍	7. 腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 8. 腫瘍の浸潤、発育及び転移様式について説明できる。 9. 悪性腫瘍の進行度について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と非上皮性組織 2.) 腫瘍の定義。 3.) 細胞分裂周期と形態学的特徴。 4.) 非歯原性腫瘍の種類 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無ししの名案、マルチメディアの併用自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】講義 【場所(教室/実習室)】 1 0 2 教室、第 2 実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本な映患と障害の病因・病態 ア疾病の概念 「国家試験出題基準(副)】 歯科医学統論 統論Ⅲ、病因、病態 1 病因、病態 1 病因、病態 2 概念 5 疫突 6 病因 6 対類と病態	担当教員 久山 住代 宇都宮 美雷 正昌
		d 分類と病態 e 組織学的構造 f 前癌状態、前癌病変 g 腫瘍と宿主の関係  【コアカリキュラム】 C 生命科学 C -5 病因と病態 C -5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。 ②腫瘍の病因を説明できる。 ③ 肚皮異形成を説明できる。 ③ 上皮異形成を説明できる。 ④ 腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 ⑤ 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥ 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	
2018/12/19 (水) 2時限 10:40~12:10	腫瘍	【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び生物学的意義について学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 腫瘍の発生原因と組織発生(多段階説)を説明できる。 2. 腫瘍の分類について説明できる。 3. 良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について述べることができる。 4. 上皮性及び非上皮性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 5. 非歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について解説できる。 6. 異形成、退形成及び分化について説明できる。 7. 腫瘍の異型性と多形性について解説できる。 8. 腫瘍の浸潤、発育及び転移様式について説明できる。 9. 悪性腫瘍の進行度について解説できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1.) 上皮性組織と非上皮性組織 2.) 腫瘍の定義 3.) 細胞分裂周期と形態学的特徴 4.) 非歯原性腫瘍の種類 ・準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	久山 佳代 字都藤 美雪 素光 正昌
		アクティブラーニング無し 102教室、マルチメディアの併用 自主学修用教材「ドリル」を配布およびWebClass利用 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア疾病の概念 関 腫瘍 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/12/19(水) 2時限 10:40~12:10	腫瘍	総論Ⅲ 病因、病態 1 病傷 2 種線念 b 疫病と病態 c 和機念 c 和類と病態 e 組織学的構造 f 前癌状態、前層場と宿主の関係 【コアカリキュラム】 C 生命病と病態 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の病因と病態 ①腫瘍の病因と病態 ①腫瘍の病因と病態 ①腫瘍の病因と病態 ③性皮異形型性と組織等的分化度を説明できる。 ③良性腫瘍の異異型性と組織等の異同を説明できる。 ⑥良性腫瘍の異形型性と組織等の異同を説明できる。 ⑥良性腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	久山 佳代 宇都藤 美雪 素光 正昌
2019/01/16 (水) 1時限 09:00~10:30	腫瘍の病理組織学	【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び医学的意義について学修する。 【行動目標(SBOs)】 1.代表的な腫瘍の病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目と準備学修時間 31 細胞分裂周期と形態学的特徴 4・準備学修時間 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】アクティブラーニング無し第2実習室、顕微鏡一テレビシステムの併用 【学修方略(LS)】 【場所(教室/実習室】】 102教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本な的患項で表の病因・病態ア疾病の概念 度腫瘍 「国家試験出題基準(副)】 諸総論Ⅲ、病因、病態 2 腫瘍 「個人病態 2 腫瘍 (国の病態 2 腫瘍 (国の病態 5 種類 (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国を学総高) (国種島の病療に (国を対験出題と呼の順係 (コアカ科学) (工生命利と方動態 (国産の定域のと対験にできる。 (国産のの環境と説明できる。 (国産のの病成を説明できる。 (国産のの病成を説明できる。 (国産のの病成を説明できる。 (国産のの異型性と組織等の外化度を説明できる。 (国産のの異型性と組織等の外間を説明できる。 (国性傷の異型性と組織等の外間を説明できる。 (国性傷の異型性と組織等の外間を説明できる。 (国性傷の異型性と組織等の外間を説明できる。 (国性傷の異異性性腫瘍の異同を説明できる。 (国性傷の異異性性腫瘍の異同を説明できる。 (国性傷の異異性性腫瘍の異同を説明を説明できる。 (国性傷の異異性と組織等の異同を説明を説明できる。	久宇末齋田新落大太大黒小小齋茂白鈴鈴田玉中中中西林松三村メ山神阿坂紫諸二及 (大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大学、大
2019/01/16 (水) 2時限 10:40~12:10	腫瘍の病理組織学	【授業の一般目標】 腫瘍を理解するために、その病因、分類、病態及び医学的意義について学修する。  【行動目標 (SBOs)】 1.代表的な腫瘍の病理組織学的特徴について説明できる。  【準備学修項目と準備学修時間】・準備学修項目: 1)上皮性組織と非上皮性組織 2)腫瘍の定義 3)細胞分裂周期と形態学的特徴。 4)非歯原性腫瘍の種類 ・準備学修時間:30分  【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有り:クリッカーを使用したクイズ	久宇末齋田新猪大太大黒小小齋茂白鈴鈴住 正美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶佳 正美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶官 工美秀博俊善泰光光歩康隆里誠彰慶 高

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/16(水) 2時限 10:40~12:10	腫瘍の病理組織学	第2実習室、顕微鏡-テレビシステムの併用 【学修方略(LS)】	田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介
10:40~12:10		演習	中島 十四夫
		【場所(教室/実習室) 102教室、第2実習室	西山 孝宏   林 正人   松村 由香
		【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍	三宅 正純   村守   樹理     メルニエイ   マリア     山本   浩嗣     神向寺   登美夫
		【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論証 病態 1 病因、病態 2 腫瘍 a 概念 b 疫学 c 病因 d 分類と病態 e 組織学的構造 f 前癌状態、前癌病変 g 腫瘍と宿主の関係	阿部 洋大郎
		【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-6) 腫瘍 ①腫瘍の定義を説明できる。 ②腫瘍の病因を説明できる。 ③上皮異形成を説明できる。 ③上皮異形成を説明できる。 ④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 ⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 ⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。	
2019/01/23 (水) 1時限 09:00~10:30	後半試験	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学 的知識を包括・整理する。	久山   佳代   宇都宮   忠彦   齋藤   美雪
		  【行動目標(SBOs)】  1.炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的特徴について説明できる。	末光 正昌
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知見	
		・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	
		102教室(第 2 実習室)	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
2019/01/23 (水) 2時限 10:40~12:10	後半試験(実習)	【授業の一般目標】 病因・病態を理解するために、炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学 的知識を包括・整理する。	久山     佳代       宇都宮     忠彦       齋藤     美雪
		【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)炎症、嚢胞、先天異常・奇形及び腫瘍の病理学的知識を整理する。	末光 正昌
		・準備学修時間:180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	
		102教室(第2実習室) 【学修方略(LS)】	
		実習	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	
2019/01/31 (木) 1時限 09:00~10:30	平常試験 2	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)病因論、退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症、先天異常、嚢胞、病理検査、免疫の病理学および腫瘍の病理学的知見	久山     佳代       宇都宮     忠彦       齋藤     美雪       末光     正昌
		・準備学修時間:180分	
		【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 102教室(第2実習室)	
		【学修方略(LS)】 講義	
		【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/01/31(木) 2時限 10:40~12:10	平常試験 2 (実習)	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 1)退行性病変、循環障害、進行性病変、炎症および腫瘍の病理組織学的特徴 ・準備学修時間: 180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 102教室(第2実習室) 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 102教室、第2実習室	久山 佳代 宇都宮 忠彦 豪藤 美雪 末光 正昌